

## SAFETYDATASHEET(製品安全データシート)

### 1.製品及び会社情報

【製品名】 Foula モイストクリーン

【会社名】 株式会社ケイトオブ東京

【住所】 東京都渋谷区神宮前 6-19-20 第 15 新井ビル 7 階

【電話番号】 03-6427-7797

【担当部署】 商品部管理課

【使用上の制限】 推奨用途以外に使用される場合には、事前に安全性をご確認ください。

本製品が体内に留意する恐れのあるような用途には使用しないでください。

### 2.危険有害性の要約

#### GHS 分類

危険有害性	: 引火性液体 区分 3
危険有害性区分	: 該当なし
危険性	: 該当なし
危険有害性情報	: 引火性液体及び蒸気

#### GHS ラベル要素

絵表示:



#### 注意書き

【安全対策】	: 使用前に本 SDS を読み理解するまで取り扱わないこと 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざける 静電気放電及び火花による引火を防止する 屋外又は換気のよい区域でのみ使用する
【救急処置】	: 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること

## 3.組成、成分情報

単一製品、混合物の区分	: 混合物
全成分	: 水、エタノール、BG、ローマカミツレ花エキス、アルニカ花エキス、オドリコソウ花/葉/茎エキス、オランダガラシ葉/茎エキス、ゴボウ根エキス、セイヨウキズタ葉/茎エキス、ニンニク根エキス、セイヨウアカマツ球果エキス、ローズマリー葉エキス、アルギニン、クエン酸、クエン酸 Na、メチルパラベン、フェノキシエタノール ※エタノールの配合量：10.3(w/w%)

## 4.応急処置

- 吸引した場合 : 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静を保つ。応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちにまぶたを開いて、流水で 15 分以上洗浄する。症状がでた場合等、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ 1~2 杯の水又は牛乳を飲ませて希釈し、直ちに医師の処置を受ける。意識がない場合は口から何も与えてはならない。

## 5.火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
- 消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。
- 使ってはならない消火剤 : 水の使用は火災を拡大し危険な場合がある。

## 6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 関係者以外の立ち入りを禁止する。保護眼鏡等適当な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 下水、排水、河川等に流さないように注意する。
- 除去方法 : 少量の場合、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、空容器に回収する。  
多量の場合、盛土等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから、空容器に回収する。

二次災害の防止策 : 浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源となるものは速やかに取り除く。

## 7.取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 取扱いの都度、容器を密閉すること。  
: 取扱い後はよく手を洗うこと。  
: 目、衣類に付けないこと。
- 安全取扱い注意事項 : 容器を転倒、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

### 保管

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気のよい場所で容器を密閉し保管すること。  
専用の容器以外に移し替えて保管しないこと。

## 8.暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに眼の洗浄及び身体洗浄の為の設備を設置する。  
取り扱いについては、火気のない換気のよい場所で行う。
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 設定されていない。
- 呼吸器の保護具 : 必要に応じて保護マスクを着用する。
- 手の保護具 : 必要に応じて保護手袋を使用する。
- 目の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて防毒マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用する。  
帯電防止衣服を着用する。

## 9.物理的及び化学的性質

- 外観等 : 無色透明の液体
- 臭気 : 特異なにおい（原料臭）
- 溶解性 : 水に溶解
- pH (25°C) : 8.4~9.4
- 引火点 : データなし

## 10.安定性及び反応性

安定	: 通常の取扱い条件においては安定
危険有害反応可能性	: 硝酸、硝酸銀、硝酸水銀、過塩素酸マグネシウムなどの強酸化剤と激しく反応する恐れがある。
避けるべき条	: 高温への暴露
混触危険物質	: 強酸化剤

## 11.有害性情報

: 情報なし

## 12.環境影響情報

: 情報なし

## 13.廃棄上の注意

: 廃棄する場合は、関係法規に従って廃棄するか、又は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物業者に委託する。

## 14.輸送上の注意

国連分類	: 該当しない
国連番号	: 該当しない国内規制
陸上輸送	: 労働安全衛生法に定められた輸送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められた輸送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められた輸送方法に従う。
消防法	: 該当しない。輸送の特定の安全対策及び条件 : 「7.取扱い及び保管時の注意」による他、運搬に際しては容器・包装に漏れ、破損、腐食等のないことを確かめる。転倒、落下、損傷がないように積み込み、

荷崩れの防止を確実に行う。  
直射日光・高温多湿を避ける。  
夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。

## 15.適用法令

### 国内法令

医薬品医療器等法：化粧品  
消防法：危険物には該当しない

## 16.その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保障もなすものではありません。又記載事項は通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願いいたします。この情報は新しい知見及び試験、法令の改正などにより改正されることがあります